

5日目 7月17日

会 場: 県立浜山球場

第2試合	~2回戦~																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
出雲西	0	0	0	3	0	0	0	0	3							6	14	0		
益田翔陽	0	2	0	0	4	1	0	0	X							7	10	1		
(投手-捕手)																				
・ (出)	藤原→山本→高橋 - 下原																			
・ (益)	吉村→水津→吉村 - 石橋																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (出)	田中、下原						中島													
・ (益)	水津																			
(審判) [球審]	日野岡			〔一塁〕 清水繁			〔二塁〕 流田			〔三塁〕 住田										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(出)	47	14	5	2	1	0	3	6	1	0	14	0			0	0	0	0	0	0
(益)	39	10	7	1	0	0	4	5	5	0	8	0			1	2	0	1	0	0

### 「益田翔陽、丁寧な犠打で秋の準優勝校撃破！」

大会5日目浜山会場の第2試合からはいよいよ初戦を勝利したチームどうしの対戦が始まった。秋準優勝校の実力校、出雲西は初戦を7回コールドで勝ち上がった。対する益田翔陽は反対に、初戦を延長12回と接戦を制している。試合は、出雲西は左のエース藤原、益田翔陽は絶対的エースの吉村が先発した。益田翔陽が常に先手を取り、出雲西が猛追する展開となった。

2回裏、益田翔陽は2本の安打と犠打、四球で1死満塁とし、8番西田翔がライトへの適時打で2点を先制する。対する出雲西は4回表、2死から連打で1・2塁とし、1番中島が左中間を破る適時3塁打で2点を返し同点に追いつくと、捕逸で勝ち越し逆転する。

しかし、直後の5回裏、益田翔陽打線が出雲西の藤原を捉える。安打と犠打、内野ゴロで2死3塁とし、4番水津の左中間への適時2塁打で同点とする。続く打者も安打で繋ぎ2死1・3塁となり出雲西は2番手投手に継投する。益田翔陽は継投した投手を攻め、6番齋藤拓の適時打で勝ち越しに成功すると、四球で満塁とし8番の西田翔がライトへの2点適時打を放ち、5回に一拳4得点を挙げる。更に益田翔陽は6回裏にも、安打と犠打で2死2塁とし、4番水津の適時打で1点を追加した。

追う出雲西は右のエース高橋を7回から投入し流れを取り戻そうとする。9回表、出雲西は4番田中の2塁打などで1死1・2塁とすると、7番下原の適時打で1点を返す。更に継投した投手の暴投で1死2・3塁とし、8番高橋が内野ゴロを放つ間に1点を返す。続く9番三宅にも適時打が飛び出し1点差まで猛追する。失策と暴投で2死2・3塁と一打サヨナラ場面を作るが、最後は再びマウンドに戻った吉村が、相手打者の意表を突いたセフティーバントを落ち着いて処理し、益田翔陽が勝利した。益田翔陽は1塁走者を犠打で2塁に送り続ける攻撃が功を奏した。

